



# BASELIER

ベーゼリー カルチベーター・ポテトプランター  
“オール・イン・ワン”



## ホッパー・エクステンション

オプション



ホッパー容量を500リットル分増加させます。スリットが設けられており内部の様子が把握しやすい構造です。

## 油圧マーカ

オプション



複動油圧1系統で操作するセンターマーカです。移動時には上向きに固定することができます。

## 電動カットオフクラッチ

オプション



通常は手動で行なうプランティングユニットの停止操作を、電動モーターに置き換えるオプションです。スイッチボックスにより1畦ずつON/OFFができます。油圧式トラックワイパーと組み合わせれば、防除通路を作りながらの植付を準備する際も、トラクターから降りずに行なうことができます。

## 欠株センサー

オプション



プランティングユニットに装備された植付部監視センサーと、駆動タイヤに搭載された車速センサーを用いて、種イモの欠株が続いた場合に警告を発します。プランティング・ユニットの監視を機械に任せることで、ワンマン作業をサポートします。



型式	作業幅 (cm)	畦数・畦幅 (本×cm)	ホッパー容量 (ℓ)	本体重量 (kg)	ロータリー部 タイン数 (本)	所要馬力 (PS)	PTO 回転数 (rpm)	全幅 (cm)	全長 (cm)	全高 (cm)
■ FA310W	305	4×75	2500	2950	100	150~※1	1000	340	350	200
■ FA300W	300	4×72						325		

※ 必要油圧 / 電装 (オプションを除く) DA×1 (作業高さ調整タイヤ) SA×1 リジシングフードアキュムレーター電装 12V1 系統 (電動バイブレーター)  
 ※1 作業に必要なトラクター馬力 (所要馬力) は、圃場の状態や傾斜等によって異なります。この数値は最低限必要なトラクター馬力です。  
 ※ この諸元は改良のため予告無く変更になる場合があります。仕様によって写真と商品が異なる場合があります。  
 ※ 保証書はご購入先の販売店で必ずお受け取りください。

# ISEKI

お問い合わせは最寄りの弊社営業所または中セキ本社まで

株式会社 中セキ北海道

本社 〒068-0014 北海道岩見沢市東町2条7丁目1004番地1 TEL:0126(22)3388 FAX:0126(25)5645  
 道東商品センター 〒080-2459 北海道帯広市西19条北2丁目13番地5 TEL:0155(66)6961 FAX:0155(66)6965

営業所・担当者

## 碎土 Cultivation



フックタイン式全面ロータリーセクションが330rpmで回転し、作業幅全体にわたり均一な碎土をもたらし、播種床、培土に最適なコンディションを用意します。碎土を適切に行なうことにより、土中の土塊が少なくなります。そのため収穫作業の効率化にも繋がります。

## 植付 Planting



植付される種イモは、大容量ホッパーから4つのプランティングユニットへ供給されます。車輪から得た動力により、カップを備えたゴム製エレベーターが駆動し、種イモを拾い上げます。プランティングユニット内部には、エレベーターに振動を与える機構もあり、カップが2個以上の種イモを拾い上げた場合でも、余分な種イモはこの振動で振り落とされ、1個ずつ植付します。プランティングユニットは簡単な操作で1畦ずつ停止させることが可能です。株間は、工具を用いずに変更することができ、8~47.5cmの範囲で32段階に調整可能です。

## 培土 Ridging



植付された直後に畦立作業が開始されます。覆土ディスクにより土が寄せられて、リッジングフードで培土されます。リッジングフードの接地圧は、油圧ゲージを見ながら調整が可能です。設定した圧力は、アキュムレーターにより保持されます。

# 碎土・植付・培土 プランティングに必要な すべてをひとつに。

## Baselier Cultivator Potato Planter "ALL in ONE" FA310W



## ワン・パス(1工程)の価値を最大限に高めるマルチ作業機

カルチベーター・ポテトプランター“オール・イン・ワン”は碎土・植付・培土の3工程が一度に行なえる省力的かつ高能率な4畦・直装式ポテトプランターです。フックタイン式全面ロータリーは、碎土を効果的に行うことで土塊を作らず、ストロンの形成にストレスを与えない、高品質な培土をもたらします。さらに収穫時に土塊が上がりにくいというメリットがあります。植付部は、種イモを載せるためのカップを備えたエレベーターが駆動する方式です。欠株を最小限に抑える工夫が各部に施されているため、全粒種イモだけでなく、あらかじめカットした種イモを植付することも可能です。リッジングフードには1対のアキュムレーターが装備されており、土壌条件に応じた接地圧に調整が可能です。内面に貼られたスリックボードは、畦との接触をスムーズにし、ひび割れを防ぎます。さらに碎土と同時に培土が行なわれることにより、土が温まるまでの時間が短くなるという効果もあります。

このベーゼリー“オールインワン”を運用することで、種イモの植付にかかる時間と労力を大幅に削減することが可能です。

### ベルト・バイブレーター



特に小粒の種イモや、カットした種イモを植付する際には、プランティングユニットのカップが、種イモを2個以上同時に拾い上げることがあります。これを落とすために、プランティング部に振動を与える、電動式バイブレーターを備えています。バイブレーターの強度とON・OFFはトラクターキャビン内から行なえます。

### ボトム・バイブレーター



ボトムにも機械駆動式バイブレーターを備えることができます。この部分に振動を加えることで、プランティングユニットの直前で種イモがブリッジすることを予防します。特に切った種イモで植付する際に、ブリッジの発生を最小限に抑えます。

### トラック・ワイパー

手動式



油圧式



防除通路を作る際には、通路となる両端の植付部を停止し、立てた畦を平にならしながら作業を行います。立てた畦を消す装備：トラック・ワイパーには手動式と油圧式のどちらかを選択可能です。手動式の場合は、畦消しの部品を移設することで、4畦のどの畦にも使えます。油圧式の場合は両側の2畦に作用させます。

オプション

オプション